

朝鮮半島由来の文化財を考える関西国際ワークショップ

関西にある朝鮮半島由来の文化財を知る・学ぶ

海を隔てて、日本と朝鮮・韓国の文化交流は古くから盛んに行なわれ、人と物の往来は絶えることがありませんでした。現在でも日本各地の遺跡や、仏閣・神社などの施設で、朝鮮半島由来の文化を見て取ることができます。

なかでも、かつて都が置かれていた関西地方は、日本の政治・経済・文化の中心として殷賑(いんしん)をきわめ、現在でも力強い影響力を誇っています。朝鮮半島や中国からもたらされたさまざまな外来文化が大阪・奈良・京都周辺で広く受容され、土着文化と溶け合い、豊かな様相が生み出された歴史的場所です。

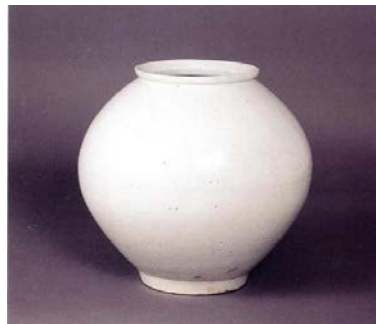
関西には、朝鮮半島由来の絵画、彫刻、陶磁器など多数の文化財があります。それらの文化財の現状、来歴などを知ること、文化財を活かして、今後の文化交流の発展に大きく寄与できるものと思います。ご関心ある多くの方々のご参加を呼びかけます。



正祐寺の高麗鐘



京都国立博物館の石人



高麗美術館の朝鮮白磁壺



鶴見緑地の韓国庭園

■日時： 2016年6月4日(土) 10:00~17:00(受付 9:30~)

5日(日) 9:00~17:00(集合場所未定・追ってご案内します)

■会場：6月4日 大阪・韓国文化院 セミナー室

(韓国文化院 〒530-0016 大阪市北区中崎 2-4-2 4F ☎06-6292-8760 地図:下記)

6月5日 バス・ツアー(大阪~京都) (正祐寺・大阪市立東洋陶磁博物館・鶴見緑地・高麗美術館など訪問・見学予定)

■プログラム：(あらし⇒裏面に)

■定員：先着 40 人(席に余裕がある場合は当日参加可)

■参加費：6/4 2,000 円(学生・65 歳以上 1,000 円)

6/5 4,000 円(同 2,000 円、バス代・弁当代・観覧料込)

2日間参加 5,000 円(同 2,500 円)

*申込方法：Eメール・Fax・はがきで下記に申し込みの上、参加費は振込で。

⇒振込先：●郵便振替口座：00140-9-514310
「朝鮮文化財ワークショップ」
●ゆうちょ銀行口座：店名〇ー八(ゼロイチハチ)
普通預金5651933 同

■主催：「朝鮮半島由来の文化財を考える関西国際ワークショップ」
実行委員会(実行委員長=姜健榮)

■連絡先：info-workshop@googlegroups.com Fax075-414-8952
〒602-0017 京都市上京区衣棚通上御霊前下上木ノ下町 73-9 阿吡社気付
☎090-3591-4408 または 080-5079-5461

■後援：駐大阪大韓民国総領事館・韓国文化院、国外所在文化財財団

■助成・協賛：秀林文化財団



■呼びかけ人 ■ 姜健榮(KMAJ 関西前会長)、河正雄(秀林文化財団理事長)、仲尾宏(京都造形芸術大学客員教授)、水野直樹(前京都大学教授)、吉井秀夫(京都大学教授)、太田修(同志社大学教授)、李洙任(龍谷大学教授)、文京洙(立命館大学特任教授)、勝村誠(立命館大学教授)、庵途由香(立命館大学教授)、大澤文護(千葉科学大学教授)、飛田雄一(神戸学生青年センター館長)、李洋秀(大阪経済法科大学客員研究員) (順不同・2016.4.20.現在)

朝鮮半島由来の文化財を考える関西国際ワークショップ

●知りたい・学びたい・共有したいポイント●

- ①関西地方にどのようなコレクションがあるのか(現状)、②どのように集まったのか(歴史)、③朝鮮・韓国側からはどのように持ち出され、渡来したのか(経緯)、④これらの文化財をどのように活かすのか(活用)

【プログラム(予定)】

6月4日(土) (1日目) 大阪・韓国文化院 セミナー室

10:00~10:30 開会式・参加者紹介

10:30~12:00 レクチャー(韓国から)

- 「植民地期における古蹟調査について」李基星(韓国伝統文化大学教授)
- 「朝鮮半島伝来の仏教文化財を通じた韓日文化交流」崔応天(東国大学教授)
- 「日本地域の韓国文化財と国外文化財財団の活動」姜林汕(国外所在文化財財団国際協力室長)

12:00~13:00 昼食(ビデオ上映)

13:00~14:30 レクチャー(関西から)

- 「朝鮮石人像を訪ねて」深田晃二(むくげの会)
- 「京都大徳寺にある朝鮮半島由来の文化財」姜健榮(KMAJ 関西前会長)
- 「朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録をめぐる」仲尾宏(京都造形芸術大学客員教授)

14:30~16:45 自由発表・自由討論(*追加の発表も予定)

16:45~17:00 まとめ

(17:30~20:00 交流会 *会費制)

6月5日(日) (2日目) バス・ツアー & 見学(大阪~京都)

9:00 集合(場所未定) *予定は道路の混み具合などで急に変更になることもあります。ご了承ください。

9:30~10:00 ①正祐寺(天禧三年(1019)の在銘のある朝鮮鐘。戦中に破損。2007年大阪教育委員会の援助で復元)

10:30~11:30 ②東洋陶磁器美術館(住友グループから安宅コレクションの寄贈を受け、朝鮮・中国の陶磁器多数を所蔵)

12:00~13:00 ③鶴見緑地公園・韓国庭園(*昼食弁当)(1990年花博の時に伝統的な宮殿を模して造園された庭園)

15:00~16:30 ④高麗美術館(1988年鄭詔文氏が私財を投じて開設。優れた高麗青磁、朝鮮白磁など1700点余の作品所蔵)

17:00 京都駅(解散) *時間があれば京都国立博物館にも寄ります。

(17:30~19:30 懇親会 *会費制)



<ご案内> 京都・高麗美術館で 「仏教の輝き 青磁の輝き」展を開催中

7月24日(日)まで 休館日:月曜
午前10時~午後5時

*入館は4時30分まで

(但し、5月2日・7月18日は開館)

詳しくは、☎075-491-1192、WEB:

<http://www.koryomuseum.or.jp/>

青磁象嵌牡丹文扁壺
(高麗時代 13世紀)



⇒Fax: 075-414-8952 (Faxの場合はご記入の上、切り取らずにそのままお送りください。) E-mail: info-workshop@googlegroups.com

「朝鮮半島由来の文化財を考える関西国際ワークショップ」参加申込書

- ① 名前: _____
- ② 所属: _____
- ③ 住所: 〒 _____
- ④ Email: _____
- ⑤ 参加予定日: 6月4日(土) 6月5日(日) (*を入れて下さい)
- ⑥ 参加費支払方法: 郵便振替で送金 ゆうちょ銀行に振込 当日受付で支払い予定
- ⑦ 交流会・懇親会参加予定: 6月4日(土)17:30~大阪・交流会 6月5日(日)17:30~京都・懇親会(*会費未定)
- ⑧ ご希望など: _____



Fax